

平成 2 5 年

亀山市教育委員会 2 月定例会会議録

亀山市教育委員会2月定例会会議録

1. 日 時

平成25年2月22日（金）午後2時00分開会

2. 場 所

亀山市役所 本庁舎3階 第2委員会室

3. 出席委員

1番委員	肥 田 岩 男
2番委員	伊 藤 ふじ子
3番委員	岡 田 香
4番委員	村 山 竹 則
5番委員	井 上 恭 司

4. 欠席委員

なし

5. 議事参与者

教育次長	上 田 寿 男
総括(兼)教育総務室長（以下総務室長という。）	上 田 稔
学校教育室長（以下学校室長という。）	服 部 裕
教育研究室長（以下研究室長という。）	若 林 喜美代
生涯学習室長（以下生涯室長という。）	伊 藤 早 苗
歴史博物館長（以下歴博館長という。）	亀 山 隆
まちなみ文化財室長（以下まち室長という。）	嶋 村 明 彦
教育総務室主幹（書記）	村 山 成 俊

6. 経過報告

委員長 会議に先立ち、報告事項がある。去る、2月19日に開催された平成25年亀山市議会第1回臨時会において、岡田香氏と井上恭司氏を教育委員として任命することに同意をいただいた。これを受け、昨日、市長より本日付けで教育委員に任命されたので報告させていただく。

それでは、お二人の就任にあたりご挨拶をいただきたいと思いますので、よろしく願います。

<岡田委員、井上委員挨拶>

7. 開会

委員長 ただいまの出席委員は5名であり、定足数に達しているので、ただいまから、2月定例教育委員会を開催する。

8. 議席について

委員長 最初に、委員の改任があったため亀山市教育員会会議規則第6条にもとづき議席を決定するため、くじ引きを行いたいと思う。

<くじにて議席番号決定後議席番号順に委員着席>

9. 会議録署名者指名

4番委員（村山竹則委員）

10. 前回会議録の承認（1月定例会、第1回臨時会）

1月定例会は承認、第1回臨時会は一部訂正の上承認される。

1 1. 教育長報告

教育長

教育長報告の主なものを「平成25年2月定例会教育長報告」に基づき報告。

- ・ 1月26日、文化財防火デーに関地蔵院で防火訓練が行われたので出席した。お寺の関係者、地域の方々、地元消防団員及び消防署員が参加して実際に消火活動にあたった。地域の文化財に対する防火という意味で、有意義な催しではあったが、今後さらに多方面から実践していく必要があると感じた。
- ・ 1月26日、28日、2月8日には、教育委員の皆さんにお世話いただき学校訪問を実施した。
- ・ 1月30日、2月18日、コミュニティ研究会に教育次長と出席した。まちづくりということでまちづくり協議会、コミュニティの推進事業ということで関係者が集まり、さまざまな研究をしている。
- ・ 1月31日、第5回「B&G全国サミット」が東京で開催され、出席した。首長もしくは教育長が出席を義務付けられている内容であるので私と文化部職員とで出席した。
- ・ 2月1日、保幼小中等連携協議会に出席した。東京から幼児教育の堪能な安見先生より、いろいろご意見をいただいた。
- ・ 2月2日については、幼児教育研修会ということで、小中の管理職、保育士、幼稚園の先生が参加して、安見先生の講演を拝聴した。
- ・ 2月7日、岐阜県教育委員会委員が、三重県教育委員会へ文化財の保護の状況を視察に来られ、関宿を視察していただいたため、私も同行した。
- ・ 2月10日、第59回亀山市駅伝競走大会に出席した。参加チームは、過去最多とのことであった。また、KIFAの催しにも出席した。その後、元教育委員の横山氏の夫である横山宗晴氏の文部科学大臣賞受賞のお祝い会に出席した。
- ・ 2月13日、午前には三重県の中体連会長ならびに事務局担当が、来年度の全国中体連のソフトボール大会の依頼で来庁した。詳しいことについては、今後、さまざまな打ち合わせを事務局と行っていくことになる。午後は、亀山市伝統的建造物群保存地区保存審議会に出席した。
- ・ 2月16日、美し国三重市町対抗駅伝大会亀山市代表チームの結団式に出席した。野登小学校、昼生小学校、亀山中学校、中

部中学校の児童生徒が、参加している。

- ・ 2月18日、研究協力員会議に出席し、1年間の内容の成果を研究協力員の長谷川教諭（理科教育）と麻生教諭（算数教育）が、発表を行った。両者ともに研修の積み上げがうかがえる充実した内容であった。
- ・ 2月20日、ALTプレゼンテーションに出席した。平成25、26、27年の3年間の雇用について東京、名古屋、大阪等から来た8社のプレゼンを受けた。この後、評価の上決定をしていきたい

委員長

教育長報告について、質問を求める。

<特に質問もなく、教育長報告を終わる。>

1 2. 議事

なし

1 3. 協議事項

委員長

協議事項1 小中学校卒業式及び幼稚園卒園式告辞について、一括して、担当室長より説明を求める。

総務室長

書記の朗読をもって説明にかえさせていただく。

<書記告辞朗読>

委員長

協議事項1 小中学校卒業式及び幼稚園卒園式告辞について、意見を求める。

井上委員

小学校の告辞であるが、子どもと大人との関わりが薄いという印象を受ける。子どもの育ちが、子ども社会の中だけに限定されている気がする。親の励ましや、地域社会のあたたかい励まし、目配りがあったのではないか。4つ目の段落の最後の行で、「私たちは応援します」とあるが、これは誰なのか。地域社会の関わりもあるのではないか。

教育長

再度検討し、ご指摘の内容を付け加えさせていただく。

井上委員

中学校の告辞について、3つ目の段落に、「ご家族のみなさんの限りない愛情」とあるが、地域社会の人たちも同様に愛情を注いできたのだから、たとえば「ご家族のみなさんや地域の人たちの」と挿入していただいてはいかがか。

教育長 再度調整のうえ、次回委員会でご確認いただきたい。
村山委員 中学校で、後ろから3行目で「地域の方々等」とあるが、「等」とは何か。小学校のほうは、等が入っていない。

教育長 ご指摘のとおり同じにする。
委員長 何か立案者の意図するところがあるのか。
教育長 ご指摘のとおりだと思うが、確認もさせていただく。
委員長 了解した。
村山委員 外国語は、入れないということによかったか。
教育次長 外国語は、入れないということで昨年度決定している。
委員長 告辞については再度調整していただきたい。
＜再度調整することで協議事項1の協議を終わる。＞

委員長 協議事項2平成24年度教育費3月補正予算について、説明を
求める。
＜担当室長・館長より協議事項2平成24年度教育費3月
補正予算について、説明を行う。＞

委員長 平成24年度教育費3月補正予算について、意見を求める。
井上委員 個の学び支援事業の旅費減額は、研修機会の数に影響されたもの
か。それとも参加率により変わったのか。

学校室長 小中学校については、学習生活相談員が、宿泊で県外にも行ける
予算であったが、宿泊せず、日帰りで可能となったことや修学
旅行の引率者が当初予定より減ったためである。幼稚園については、幼小中の合同研修会を教育研究室で年間複数回開催している
が、夏休み等で自宅から直接研修場所へ行ったため出張距離が減
り旅費も減った。研修はここ2、3年計画的に進められている。

井上委員 研修の機会は保障され、参加率も予想通りだったということ
か。

学校室長 そうである。
委員長 入札率が下がってきたが、井田川小学校の請負率は何パーセン
トか。

教育次長 工事請負率は、約94ないし95パーセント程度である。予算
2億円で、減額補正が、約1,200万円であるので、その程度
である。設計の請負率は、3～4割で、50パーセントを下回っ
ている。
(詳細について教育総務室長説明)

委員長

了解した。

<ほかに意見もなく協議事項2の協議を終わる。>

委員長

協議事項3平成25年度教育費予算について、説明を求める。

<教育次長、まちなみ文化財室長、博物館長より協議事項

3平成25年度教育費予算について、説明を行う。>

委員長

協議事項3平成25年度教育費予算について、意見を求める。

井上委員

1ページのが①学校教育施設の整備で、ア、イ、ウについては学校名が挙げられてわかりやすいが、エの安心安全な学校施設整備事業の対象校が記載されていない。たとえば、特別支援教室飛散フィルムの設置は、すべての学校、園に設置されるのか。

体育館トイレは、平成25年度は、2校と聞いたが、何年度から始まって何年度で終了するのか。これまで終了してきた学校、平成25年度、平成26年度の学校が、確定していたら教えてほしい。

3ページの⑥若年講師指導員は、予算額から1人だと思うが、今の予想では、約何校に約何名の指導にあたらせる予定か。巡回になると思うが、どのような指導を受け持つか教えてほしい。

同じく3ページの学力・体力支援事業の学力向上研修会は、学力向上のための研修を推進するということなのか、学力向上研修会と銘打ったものを特設という形で実施するのか。

4ページの③幼児教育推進事業で、保幼小中の保育士、教育一斉研修会は、平成25年度から始めるのか既に始まっているのか。実際に行った又は行う予定の内容や参加者をどのように想定しているのか

4ページの⑤道徳・人権推進事業の規範意識の醸成や人権尊重の学校づくりとあるが、人権尊重の学校づくりは私もいい表現だと思うが、道徳教育と規範意識の醸成というものを直結させたような表現になっているのはいかがなものか。また、「子どもたちの情緒の安定や心の教育を推進します。」とあるが、不安定な情緒に陥っている子どもを安定させるための事業かと読み取れ、誤解を招く恐れがあるので、削除してはどうか。

- 総務室長 1 ページの特別支援教室飛散フィルム設置事業については、小学校9校、中学校2校を計画している。小学校の残り2校であるが、亀山西小学校は強化ガラスで設置の必要がなく、白川小学校は耐震化事業と併せて設置する予定である。中学校の残り1校は、関中で、改築で対応済みであるので、小中併せて11校で、1校200万円で実施する。
- 体育館のトイレ改修については、本年度から、避難所や学校開放等で多くの方が利用されることから、本年度より計画的に取り組んでいるものであり、段差解消などバリアフリー化、洋式トイレの設置を行っているものである。来年度は川崎小学校、神辺小学校、加太小学校を予定している。
- 井上委員 平成24年度末で何校になるのか。
- 総務室長 本年度は、亀山南小学校、昼生小学校、井田川小学校、野登小学校、白川小学校の5校で実施した。
- 井上委員 命にかかわる部分のことは、できれば単年度で実施していただけると地域の方は喜ぶと思う。
- 学校室長 3ページの⑥若年講師指導員配置は、新規事業となる。まず、正規採用の新任教員には、県教委の責任のもとで指導員が配置される。しかし、県費新任講師については、指導のシステムが確立されていない。加えて、市職のふるさと先生については、「ふるさと先生養成塾」を行って、養成ならびにスキルアップ研修に取り組んでいるところであるが、年間6回程度と限りがある。したがって、集めるばかりでなく、出前方式で個別に、県の正規教員に追いつくためのアドバイザーという意味合いがある。平成25年度は、現在人事作業中であるので正確な数字ではないが、対象となるふるさと先生は5、6名、ふるさと先生でない新規講師も5、6名、合わせて十数名の新米先生が誕生することが予想される。一斉研修や講師の配置校巡回により、県費初任者指導員的な役割をさせたいと考えている。
- 井上委員 一斉研修や巡回指導は、予算からすると回数的には、少ないのではないか。
- 学校室長 1年目の事業で、4日5時間程度の指導にならざるをえない。個々の力量を見ながら重点的な指導に移行していくとは思う。1年目の実績を見ながら2年目以降のあり方を検討していく。
- 研究室長 同じく3ページの学力向上研修会についてであるが、平成22年度から開始をして3年目となる。各学校の校内研修をリードし

ていく立場の研修主任がしっかりと学べるように特別に開設している。各学校の研修主任がグループで集まって、自分の学校の校内研修をどのようにしていったら活性化できるか、職員の共通理解がどのように図れるか、授業力を向上させるためにどんな工夫をすればよいかなど、各学校が互いに悩みを出したり、他校の工夫を尋ねたりする研修会を催している。アンケートでも、ほとんどが満足という回答で、各学校で生かせるとのことであった。今後も実施したい。

4ページの幼児教育推進事業の一斉研修会であるが、これまでから、音楽、運動等の研修を年1回実施していたが、今年度は保育士、幼稚園教諭、学校の管理職が一同に会し実施した。これまで、保育士の参加率が低かったが、土曜日に開催することで、8割の参加者があった。平成25年度も引き続き実施していきたい。

4ページの道徳・人権推進事業については、文面等検討いたしたい。

井上委員
研究室長
教育長
研究室長

研修会は、管理職ということは、校長か教頭であったのか。

各校どちらかが出席している。

今年度の幼児教育推進事業の内容について説明させる。

今年度は、保・幼・小中等連携協議会を立ち上げて、家庭教育力の向上、幼児教育の充実、家庭での生活習慣等を向上させるための検討会を持った。その中で、大きな課題となっていた保育園の保育指針と幼稚園要領が別々にあるので、統一カリキュラムを進めている。その一環として、研修会を実施した。

井上委員

4ページの生涯学習人材バンクの登録者の推移はどうなっているか。また、登録バンク活用の実態として、ゲストティーチャーのリクエストの状況、教育委員会がつかんでいない、違うルートの中でやっている人もいると思うが、その状況はどうなっているか。

生涯室長

今、数字的なものは手元には持っていないが、各学校でもゲストティーチャーで個々に人材バンク登録者にお世話になっている人もいる。ダブっている人もいるが、何人かは登録をいただいている。毎年更新登録について伺っている。過去からの追跡で何人かはご登録いただいている。活用については、家庭の教育力向上人材バンク登録事業を実施しているが、そちらからの活用をしている。幼稚園では活用例が多いが、同じ人に偏っている状況であ

る。

井上委員 岡田委員が、関小学校の5年生に対して、授業をされたとのことだが、岡田委員は人材バンクに登録されているのか。

生涯室長 されていない。

井上委員 関小学校が岡田委員に依頼した経緯は。

生涯室長 関小学校が岡田委員のご活躍を知っているので直接お願いした。

井上委員 学校が見つめてきた人が、人材バンクの登録と直結していないということか。

生涯室長 ご指摘のとおりであるが、重なっている部分もある。

村山委員 3ページの⑦学校における防災用備蓄についてだが、東日本大震災でも、赤十字病院で、患者の分の備蓄は確保されていたが、医師、看護師の分が確保されていなかったため、震災以後、民間では、従業員と帰宅困難者の分の備蓄は会社で確保するよう義務付けられている。子どもたちだけでなく、先生等の公務員は、大地震に備えてどうなっているのか。

学校室長 亀山市としては、危機管理局が管理する備蓄倉庫に市民の一定の割合を備蓄しているとのことで、当初予算要求では、認められず、復活折衝で確保できた。災害では、高齢者、乳幼児が優先されるが、学校としては帰宅できない小中学生が予想され、食料等が不足する恐れがあると訴えた。保存期限3年間の保存食を用意して、期限切れになったら、防災教育の一環として、子どもたちにも、食べさせることとする。原則として、対象を児童生徒としている。

教育長 地震だけでなく、水害でも帰宅困難の子どもが出ることも想定されるので、一旦予算を却下されたが、教育次長はじめ強く予算の復活を要求した。

村山委員 ぜひとも、重要性をもっと強く訴えていくべきであると思う。防災倉庫から誰が運ぶのかということもある。

学校室長 全児童生徒数ではなく、実際の災害時には、帰宅できない児童生徒と学校に残る教職員が対象となるだろう。

教育次長 考え方として、市全体で備蓄品を考える方針であるが、市長に何とか復活折衝をして、やっと35万円確保できたものである。

岡田委員 1ページの特別支援教室飛散フィルムは、他の教室には設置しないのか。また、非構造部材点検業務とは実際どういうことをしているのか。4ページの学校図書館協力員は、司書の資格を持つ

ているのか。

総務室長 特別支援教室等飛散フィルム設置事業については、平成25年度は、各校200万円の事業費で、災害時の対応のため特別支援教室、給食室、保健室などを優先して実施したいと考えている。

なお、非構造部材点検業務については、ボード、壁（コンクリート）などの打音検査や天井材の点検を行うものである。

研究室長 4ページの学校図書館協力員は司書の資格を持っていない。保護者や学校図書館に興味を持つ人に来ていただいている。平成25年度はこの費用の中で一部図書館司書に入ってもらおう予定である。

（他に意見等もなく協議事項3の協議を終わる。）

14. 報告事項

委員長 工事及び委託事業の発注状況について、説明を求める。

総務室長 （工事及び委託事業の発注状況を報告する。）

委員長 工事及び委託事業の発注状況について、意見を求める。

（特に意見もなく、工事及び委託事業の発注状況について、報告を終わる。）

委員長 教育委員会行事報告及び予定表について、説明を求める。

（総務室長、学校室長、研究室長、生涯室長、まち室長、歴博館長より教育委員会行事報告及び予定表について報告する。）

委員長 教育委員会行事報告及び予定表について、意見を求める。

（特に意見もなく、教育委員会行事報告及び予定表の報告を終わる。）

15. その他

委員長 その他の項でなにかあるか。

生涯室長 （亀山市放課後子ども教室推進事業実施要領について説明）

委員長 亀山市放課後子ども教室推進事業実施要領について、意見を求める。

(特に意見もなく、亀山市放課後子ども教室推進事業実施要領について説明を終わる。)

- 委員長 その他の項でなにかあるか。
- 総務室長 三重県労働組合総連合から「地域経済を疲弊させる、公務員等の賃金削減に反対する要請書」が提出されたが、教育長宛の要請書であり、内容も聞き置く程度の内容と思われる。
- 委員長 了解した。聞き置く程度としてよいか
(全委員異議なし)
- 委員長 他に何かあるか。
総務室長 (卒業式入学式の出席について各委員に依頼)
- 委員長 他にあるか。私から1点、昨夜のNHKテレビで学校給食でのアレルギーによる死亡事故が取り上げられていたが、各幼稚園、小中学校、特に井田川小学校や井田川幼稚園等に注意喚起されたい。
- 学校室長 給食におけるアレルギー対応については、アナフィラキシーでエピペンを所持する児童が、井田川小学校と亀山南小学校において、教育委員会として、かねてより実態把握に努めるとともに、校長会等で注意喚起を行っている。
- 委員長 了解した。
- 総務室長 事前に調整した今後の日程について、報告。
(第2回臨時会を平成25年3月1日(金)12時30分から、第3回臨時会を平成25年3月22日(金)9時30分から、3月定例会を平成25年3月28日(木)1時30分から開催をすることを決定する。)

16. 閉会

午後4時30分